

## ランシット大学が災害科学国際研究所を訪問されました（2017/3/2）

テーマ：東日本大震災からの教訓、防災に関する研究  
 場所：災害科学国際研究所、仙台市

2018年3月2日、ランシット大学 International Business College の学生・教員 16 名が海外研修の一環として東北地方を訪問していました。その中で、東日本大震災について学ぶため災害科学国際研究所等へ訪問されたのを受け、サッパシー・アナワット准教授（災害リスク研究部門）が対応しました。初めに、当研究所と連携協定を結んだパシフィックコンサルタンツ株式会社東北支社を訪問し、土木工学的な都市開発・防災の観点において日本企業の国内外社会への貢献に関する事例を紹介していただきました。次に、災害科学国際研究所にて、大学として研究成果がどのように国内外の社会の安全に貢献しているかを紹介したほか、災害時において日本の保険会社がどのように貢献するか、地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門の研究活動を紹介しました。その後、サッパシー准教授の案内で仙台市の津波被災地を巡検し、中野5丁目の津波避難タワー、旧荒浜小学校、荒浜海岸等を見学しました。一日を通して、研修参加者の皆さんに東日本大震災についての理解を深めていただくとともに、土木・防災について日本の防災対策・タイへの適用、日本の組織・機関としての海外とのやり取りやチャレンジ等について意見交換をすることができました。



パシフィックコンサルタンツ株式会社  
 東北支社での見学



研修参加者の集合写真



災害科学国際研究所での見学



津波避難タワーでの見学



旧荒浜小学校での見学

文責：サッパシー・アナワット（災害リスク研究部門）